

おすすめアーティストその2:Juice WRLD

次にご紹介するのはJuice WRLD（ジュース・ワールド）というラッパーです。



彼は1998年にシカゴで生まれ2015年にSoundCloudで曲を出したことをきっかけにキャリアをスタートさせました。 Juice（以下Juiceと呼びます。）の才能は素晴らしく、2017年に彼をSoundCloudで見つけ出したNick Miraというプロデューサー（当時16才）とともにレコーディングした曲"Lucid Dreams"を2018年にリリースすると、なんとUS Billboard Hot 100（日本でいうオリコンチャートのようなもの）で2位までのぼりつめました。 Juiceは楽曲製作に熱心で、数えきれないほどの曲をレコーディングしていました。 それからも着々と曲をリリースし、僅か2年の間に多くの楽曲がチャートにランクインする、そんな彼のラッパーとしての大成功が近づいているのはだれが見ても明らかでした。 しかし昨年、2019年12月2日、彼は亡くなりました。 その後の発表で、Juiceの死因は薬物の過剰摂取だったことがわかりました。 空港でFBI職員が待ち構えていたことに気づいた彼は持っている薬物を過剰に飲み込んだのです。 しばらくして倒れたJuiceはそのまま帰らぬ人となってしまいました。 ヒップホップと薬物は完全に切り離すことは不可能で、多くの曲に薬についての歌詞が含まれています。 しかし、彼の死をきっかけにして、多くのヒップホップアーティストが薬物を断ち切ることを宣言しました。 これ以上彼のように薬物で才能ある命を失う人が出ないことを願います。 では、Juiceの遺した曲を紹介していきます。彼の曲を聴いて彼を悼んでいただけると嬉しいです。

目次

1. [Lucid Dreams](#)
2. [Wasted \(feat.Lil Uzi Vert\)](#)
3. [Righteous](#)

Lucid Dreams



この曲が先ほどの紹介にも出てきたように、大ヒットして彼を一躍有名にした曲です。 曲のタイトルにもある"Lucid Dreams"というのは明晰夢という意味で、明晰夢とは夢を見ているときに、それが夢であると自覚する夢のことです。 彼の滑らかな歌声とNick Miraが手がけたトラップのビート、そしてサンプリングされているStingというロックミュージシャンの曲"Shape Of My Heart"（この曲は映画「レオン」に使用されたことで知られる。）のメロディとマッチして本当に夢の中にいるような心地いい気分になります。

この曲の内容は、別れた恋人を夢で見て、もう終わったと解ってはいても忘れることができない気持ちを表したものです。 是非一度聴いてみてください。 ちなみに余談ですが、Stingはこの曲を気に入っているという発言をしていたにも関わらず、後にJuice達は売り上げの8割以上をも請求されたと言われています。 Juiceはこれについて、「この曲が人々に与えたポジティブな影響は大きいし、稼ぐところはほかにもあるんだからあまり気にしていないよ。」とツイートしています。 彼の器の大きさがわかりますね。

Wasted (feat.Lil Uzi Vert)



この曲は、先ほど紹介した"Lucid Dreams"と同じアルバム"Goodbye & Good Riddance"に収録されている曲で、彼はドラッグを使用する生活を送る女性との関係についてラップします。 Juice自身が直面している人間関係やドラッグの乱用がテーマになっている曲です。

Juiceはドラッグが素晴らしいものだと思っているわけではなく、薬物のせいで時間を無駄にしていることや、薬を乱用した彼女や自身の奇行などを赤裸々に歌詞に綴っています。 彼は苦しみや悩みから逃れたいがためにやめることができないのです。 明るいビートに重い歌詞が合わさることで言葉が浮彫りになっていて、葛藤や墮落の表現が美しい曲です。

Righteous



この曲はJuiceの死後初めてリリースされたシングル曲で、彼が亡くなる前にレコーディングされた曲です。 薬物の依存症があり、危険性を理解しつつも、自分の中に存在する不安を鎮めるためにまた薬物を摂取し、傷付いていくという内容の曲です。

ミュージックビデオでは、生前のレコーディングする姿や、ステージ上での姿が映るほか、彼が自身の中に潜む悪魔と闘う様子がアニメーションで映し出されるのも見所です。 彼の生きていた姿を想像しながら聴いてみてください。

最後に

彼は若者の心情を美しく表現しながら、自身のなかにある依存症や不安感、酔との葛藤を表せる数少ない才能をもったアーティストでした。 そして先日、彼の生前の未発表曲がアルバムでリリースされ、トップ10に5曲がチャートインしました。 これが素晴らしい快挙だということ以上に、彼がどれだけ多くの人たちに支持されていたかがわかります。 彼と同じように悩んでいる人が一人でも多く、彼の曲を聴いて救われればと思います。

[次のページ](#)



[前のページ](#)

